

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【作業学習】

1. 対象（実施を想定する学校・児童生徒の実態の概要）

弱視重複2名 対象生徒…弱視（未熟児網膜症） 重複

- ・生徒同士で話し合い、考えをまとめることには難しさがあるため、教師が間に入る必要がある。
- ・創作活動が得意で、時間は掛かるが細かい作業に積極的に取り組むことができる。
- ・授業前に教室に来て作業の準備を行うことができる。
- ・報告、連絡を行うことができる。
- ・計画を立てるのに時間を要するが、見通しをもって取り組むことで時間を意識して行うことができている。

2. 単元名 「紙漉き作業班～学習発表会に向けてデザインはがきを作ろう～」 （全15時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	良品と不良品の違いが分かり、決められたデザインのはがきを正しく作ることができる。
思考力, 判断力, 表現力等	作業計画表（カレンダー）から進捗状況を判断し、作業方法を工夫したり、教員に相談したりすることができる。
学びに向かう力, 人間性等	より良いはがきを作るための注意点を意識しながら、自分から作業に取り組むことができる。

4. 本時の目標

より良い製品のポイントを意識し、正確に製品を作ることができる。

5. 授業展開【 本時 】

解決したい課題や問い

お客様に手に取ってもらえるはがきの完成を目指して作業に取り組もう。

考えるための材料

事前にとったアンケート結果	カレンダー 目標数と作った数を書き込める表	良品や不良品の見本 より良い製品のポイント	デザインに応じた支援具とデザイン作成に必要な用具の配置を整える
想定される活動			
アンケート結果から、作るデザインと目標数を確認する。	製品数を確認して、見通しを持って作業をする。	自分が作った製品と見比べてたり、より良い製品のポイントを確認したりしながら、自分が作った製品に欠けや穴がないか確認する。	デザインを置くポイントのみ隙間が空いている支援具を用いたり、デザインで使用する道具をデザインごとにまとめたりすることで、活動が分かりやすくなる。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

【導入】

事前のアンケートで、どの柄が人気だったかを確認する。

目標数や作業内容を決める。

- ・このデザインを作るんだな。
- ・いくつ作ろうかな。
- ・昨年より増やしたいな。
- ・このデザインの在庫が少ないからこのデザインを作ろう。

手に取ってもらえる製品とはどんな製品か確認をする。

- ・規定の範囲内のものを作らないといけないな。
- ・穴が空いていないものが良い。
- ・薄いと破けやすいよね。
- ・厚すぎると規定オーバーだな。

【作業中】

紙漉き作業を行う。

- ・穴ができないように紙漉きをしよう。

スタンプ作業を行う。

- ・決められた枠に入るようにしよう。
- ・曲がってしまった。なんでかな？
- ・きれいに写るようにしっかり押しえよう。

【振り返り】

完成数を確認する。

作業の振り返りをする。

- ・目標数達成できた。
- ・今日は穴ができないように気を付けながらできたぞ。きっと〇〇がよかったからだ！
- ・最終の目標数まで足りないから、次は〇〇枚できるようにしよう。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

より良い製品のポイントを理解し、作業に取り組むことができている。

- ・穴ができないように均等にパルプを流し込もう。
- ・スタンプが曲がらないように縁に合わせて押そう。

見本と見比べ、良い製品が分かる。

- ・この製品は薄い部分があって破けそうだから、お客様には渡せないな。
- ・これはきれいにできているから、製品として渡せそう。
- ・製品に汚れがついてしまったのは、何が原因だろうか。

自分の1日の作業を振り返り、成果や今後の見通しが分かる。

- ・今日は穴ができないように気を付けながら紙漉きができたと。
- ・あと残り〇〇枚だ。
- ・次回も頑張らないとな。